

2024年10月6日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**  
第67巻第28号(通算3410号)  
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう  
**週報**

教会標語

小さくされている人を  
大切に<sup>たいせつ</sup>する<sup>きょうかい</sup>教会



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>  
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

[kyuho-church@koinonia.or.jp](mailto:kyuho-church@koinonia.or.jp)

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切に<sup>たいせつ</sup>にする神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマの人々への手紙5:5)

せかいせいさんびれいはい せいれいこうりんせつ だい しゅじつれいはい  
**世界聖餐日礼拝 (聖霊降臨節 第21主日礼拝)**

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂けます》

ぜんそう もくとう  
前奏 (黙禱)

ちよさくけんしやうめつ  
AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば  
招きの詞

しへん  
詩編

へん せつ  
73編 28節

さんびか  
賛美歌

ばん しゅ み  
21-529番 「主よ、わが身を」(©JASRAC)

せいしよ  
聖書

しんと てがみ  
フィリピの信徒への手紙

しやう せつ  
1章 12-30節

いの  
お祈り

さんびか  
賛美歌

ばん しゅ  
21-196番 「主のうちにこそ」(©JASRAC)

メッセージ「キリストを生きる」

みづたに けん ぼくし  
水谷 憲 牧師

さんびか  
賛美歌

ばん ひと ちえ ことば こ  
21-376番 「人の知恵と言葉を超え」(©JASRAC)

ユーカーリスト  
聖餐

みづたに けん ぼくし  
水谷 憲 牧師

きやうどう いの へいわ  
共同のお祈りと、平和のあいさつ

さんびか  
賛美歌 21-524番 「われらみ名により」(©著作権消滅)

しゅ いの  
主の祈り

ささげもの  
献げ物 (\*)

は けん  
派遣

ばん かみ めぐ う せつ  
21-91番 「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

しゅくふく  
祝福

みづたに けん ぼくし  
水谷 憲 牧師

こうそ  
後奏

アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讚美歌委員会)

ほうこ  
報告

ページ さんしやう  
(4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

\*受付に献金箱がございます。

「献げ物 (献金) | はご用意のある方のみ、お献げください。

## 招きの詞 詩編 73編 28節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

私には、神に近くあることこそが幸い。

私は主なる神を逃れ場とし／あなたの業をことごとく語り伝えよう。

## 聖書 フィリピの信徒への手紙 1章 12-30節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

<sup>12</sup> きょうだいたち、私の身に起こったことが、かえって福音の前進につながったことを、知っていただきたい。<sup>13</sup> つまり、私が投獄されているのは<sup>a</sup>キリストのためであると、兵営全体と、その他のすべての人に知れ渡り、<sup>14</sup> 主にあるきょうだいたちのうち多くの者が、私が投獄されたのを見て確信を得、恐れることなくますます大胆に、御言葉を語るようになったのです。<sup>15</sup> キリストを宣べ伝えるのに、妬みと争いの念に駆られてする者もいれば、善意でする者もいます。<sup>16</sup> 一方は、私が福音を弁明するために捕らわれているのを知って、愛の動機からそうするのですが、<sup>17</sup> 他方は、利己心により、獄中の私をいっそう苦しめようという不純な動機からキリストを告げ知らせしているのです。<sup>18</sup> だが、それが何であろう。<sup>b</sup> 口実であれ、真実であれ、とにかく、キリストが告げ知らされているのですから、私はそれを喜んでいます。これからも喜びます。<sup>19</sup> というのは、あなたがたの祈りと、イエス・キリストの霊の支えとによって、このことが私の救いとなることを知っているからです。<sup>20</sup> そこで、私が切に願い、望んでいるのは、どんなことがあっても恥じることなく、これまでのように今も堂々と語って、生きるにも死ぬにも、私の身によってキリストが崇められることです。<sup>21</sup> 私にとって、生きることはキリストであり、死ぬことは益なのです。<sup>22</sup> けれども、肉において生き続けることで、実りある働きができるのなら、どちらを選んだらよいか、私には分かりません。<sup>23</sup> この二つのことの間で、板挟みの状態です。私の切なる願いは、世を去って、キリストと共にいることであり、実は、このほうがはるかに望ましい。<sup>24</sup> しかし、肉にとどまるほうが、あなたがたのためにはもっと必要です。<sup>25</sup> こう確信しているので、私は世にとどまって、あなたがたの信仰の前進と喜びのために、あなたがた一同と共にいることになると思っています。<sup>26</sup> そうなれば、私が再びあなたがたのところに行くとき、<sup>c</sup> キリスト・イエスにあるというあなたがたの誇りが、私ゆえに満ち溢れるでしょう。

<sup>27</sup> ひたすらキリストの福音にふさわしい生活を送りなさい。そうすれば、行ってあなたがたに会うにしても、離れているにしても、私は次のことを聞けるでしょう。あなたがたが一つの霊によってしっかりと立ち、福音の信仰のために心を一つにして共に戦っており、<sup>28</sup> どんなことがあっても、敵対者たちにひるんだりはしないのだと。このことは、彼らには滅びのしるし、あなたがたには救いのしるしです。これは神によることです。<sup>29</sup> なぜなら、あなたがたには、キリストを信じるだけでなく、キリストのために苦しむことも、恵みとして与えられているからです。<sup>30</sup> あなたがたは、かつて私について目にし、今また聞いているのと同じ苦闘を続けているのです。

(脚注 a: 直訳「キリストにおいて」、b: 別訳「見せかけ」、  
c: 別訳「あなたがたの誇りが、キリスト・イエスにあって」)

## 《先週のメッセージより》2024年9月29日

「人生を問うのではなく、人生から問われている」より 牛田匡牧師

聖書 コリントの信徒への手紙Ⅱ 5章1-10節

良いことをした人には、良いことが起こり、悪いことをした人には、悪いことが起こる。そのような因果応報の考え方は、古今東西、世界のあちこちで考えられてきた人間の素朴な思考パターンなのだと思いますが、しかし、実際には善人も、突然の事故や病気、自然災害に見舞われることがあります。そのような現実を、どのように受け止めることが出来るのでしょうか。今回の聖書の言葉の中には、この地上での肉体を持つ命と、天における永遠の命について記されています。そのように考えると、この地上での限りある生活は、無意味であり、早く天国に行きたいと考える人たちが出てきてもおかしくありません。しかし、パウロはそのような人たちへの反論として、「体を住みかとしていようと、体を離れていようと、ひたすら主に喜ばれる者でありたい」(9)と語りました。それは言い換えるならば、肉の体、地上の命も決して無価値ではない、確かに生きる意味があるということです。

第二次世界大戦中のナチス・ドイツによるユダヤ人大虐殺を生き延びたヴィクトール・フランクルは「私たちが人生を問うのではなく、むしろ私たちは人生から問われている」と言いました。不幸や逆境、絶望状態の中で「どうしてこんなことが起こるのか」と人生に向かって問いを投げかけるのではない。むしろ逆に、自分が人生の方から「お前はこの現実に向き合うのか。この現実から、どのような意味を見つけ出して行くのか」と問われているということです。人は、たとえどのような状況にあっても、自分の人生から問いかけられている存在として、自分の人生の意味を見出して行くことが出来る。起こってしまった過去の出来事については、それ自体は変えることは出来なくても、その過去が持つ自分自身にとって意味は、その都度、新しく意味付け直して行くことが出来るのです。

強いかと思えば弱かったり、しっかりと立っているかと思えば揺らぎ迷っていたりするような頼りない肉の体を生きている私たちです。そのような私たちが支えて生かしてくれるのが、天から与えられる永遠の命です。私たちが常に、自らの歩みを振り返り、そこに新たな意味を見出して行く時、そこにはいつも共にいて下さる神様がおられます。私たちが不幸な人生を嘆き、人生を問うのではなく、むしろ人生の方から、私たちが問われていると考え始める時、私たちはもうすでに神様と共に一步を、踏み出しているのではないかと思います。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 9月29日

礼拝出席 大人6名、子ども3名 献金 大人5,000円 中継視聴者数8回 感謝  
 礼拝後に、釜ヶ崎支援のために「おにぎり」を145個作り、釜ヶ崎・いこい食堂にお届けしてお配りしました。衣料品の献品もどうもありがとうございました。

先々週9月22日に、八尾教会を会場として開催された河内地区合同壮年会「ゴスペル体験」は、河内地区の4つの教会から合計20名の参加がありました。感謝

◎次週 2024年10月13日(日) 聖霊降臨節第22主日礼拝

招きの詞 詩編 130編 6-8節

聖書 士師記 11章 29-40節

メッセージ 「立場主義を越えて生きる」牛田匡牧師

賛美歌 21-513番(©改訂委)、21-312番(©編集委)、21-413番(©JASRAC)

礼拝後に、10月期の「教会を考える会」を予定しています。

◎お知らせ

・これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」は、ホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。

・10月12日(土)13時半から16時にかけて、関西セミナーハウス活動センターにて、修学院フォーラム「福祉」第1回「夜回り活動を通して見えてくるもの」が開催されます。講師は桜井希さん(同志社中学・高校聖書科教員)。参加費は2,000円です。会場での対面参加の他、ZOOMを利用したのオンライン参加も可能です。

申し込み締め切りは10月9日(水)です。Webサイト、Fax、メール、電話等でお申込みください。

<https://www.academy-kansai.org/index.php>



2024年度 修学院フォーラム「福祉」第1回

日本のリスチャンアカデミー  
 関西セミナーハウス活動センター

夜回りの活動を通して  
 見えてくるもの

会場と  
 Zoom

講師 桜井希 (同志社中学校・高等学校聖書科教員)

「夜回り」は野宿している人を訪問して必要な支援をしていく活動の一つです。夜になるとたいがいの方が自分の寝床に戻って就寝されます。そのタイミングに合わせて訪問するので「夜回り」と言っています。そこで出会う方々にはそれぞれの物語がありますが、物語を聞くにはそれなりの覚悟が要ります。例えば、身体の具合が悪いと聞けば「ではどうするか」が問われるからです。相手が話してくれたことに応えようとするときに、他人事が自分事になるのだと思います。自分事として問われた経験分かち合い、共に生きるとはどういうことかを一緒に考えたいと思います。

日時 2024年10月12日(土)13:30~16:00

参加方法 関西セミナーハウス来場 または、リモート参加(Zoom)

参加費 来館/リモート共通 2,000円 学生 500円



◎講師は、会場で講義し、話し合いに参加します。参加者は、次のいずれかの方法で参加できます。

【来館参加】 関西セミナーハウスの会場に集まり、講義を聞き、話し合いに参加します。

【リモート参加】 パソコンかスマートフォンなどを利用して、任意の場所からネットを通して参加することができます。申し込みの際にメールアドレスをお知らせください。講義後メールアドレス宛てにZoomの招待状をお送りします。



桜井希 さくらい のぞみ

同志社大学大学院神学研究科博士課程前期修了。日本基督教団天満教会担任教師を経て、現在、同志社中学校・高等学校聖書科教員。

著書：『新島襄への原』（共著・日本基督教団出版局 2006年）、『共に生きる』（日本基督教団出版局 2010年）、『イエスが渡すあなたへのバトン 関西労伝60年の歩み』（共著・かんよう出版 2017年）。

\*要申込み\* 10月9日(水)までにWEBフォーム、電子メール、電話、Fax等により、裏面書式の内容でお申し込みください。

◎ 次週以降の行事予定

|       | メッセージ | 行事   |
|-------|-------|--|
| 10/13 | 牛田匡牧師 | 教会を考える会  |
| 10/20 | 牛田匡牧師 | 収穫感謝礼拝・おにぎり支援  |
| 10/27 | 水谷憲牧師 | 誕生者祝福式   |
| 11/3  | 水谷憲牧師 | (愛児祝福月間) 召天者記念礼拝<br>ユーカリスト、教会を考える会？<br>13時半~14時 王寺墓地墓前礼拝(牛田牧師)<br>15時~第二好意の庭・永眠者記念礼拝(牛田牧師) |

